

1 背景と現状

- ・民間業者の施行する優良建築物等整備事業に対して市は補助金を交付している。
- ・補助金交付要綱上、本市のまちづくりに寄与する事業であることを求めており、事業計画において算出されたB / Cを参考指標としている。
- ・事業完了後の効果測定については行っておらず、指標も設定されていない。

3 実現したい未来

- ・まちづくりへの寄与度合いを測る指標として、「にぎわい創出度」を設定する。
- ・「にぎわいの創出」を数値化・可視化するため、事業前後の来街者数及び滞在時間のデータを収集する。
- ・事業完了後の効果測定として「にぎわいの創出度」を活用し、事例の蓄積を待って優建事業の採択や補助率に反映させていく。

2 解決したい課題

優建事業の効果について、机上のB / C算出以外に指標がなく、実情に即した評価を行うことができていない。



B / Cは高いが、閑散とした再開発



B / Cは低いが、にぎわう再開発

まちづくりの寄与度が高い

4 想定する解決策や技術

- ・事業前後の来街者の人流測定
- ・「にぎわい創出度」の価値換算